



アニメーション分野を学ぶタイの大学院生らを対象とした特別授業を実施

概要

九州大学大学院芸術工学研究院では、科学技術振興機構（JST）が実施している「日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）」の助成を受け、タイから10名のアニメーション等のデジタルアートを専門とする大学院生らを受け入れ、特別授業を行います。

平成27年2月18日（水）から7日間の日程で実施し、本研究院の先端コンテンツ創成設備を使った実践的な学習を体験するとともに、本授業を通じて日本人学生とコンテンツ分野での交流を深めます。

背景

アジアのデジタルコンテンツは、クールジャパンの振興により東南アジア地域に高い関心を持って受け入れられています。近年、大学院芸術工学研究院では、特にタイのアニメーションコンテストや大学における教育と協力関係を構築しています。

このたび、「平成26年度日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）」に採択され、タイの大学院生らとコンテンツ分野の研究を通じて、交流を深めるプログラムを実施します。

内容

本研究院の源田研究室が中心となって実施し、モーションキャプチャや3Dプリンタ等先端設備を使ったコンテンツ制作演習をはじめ、福岡のアートコンペティションへの参席や映像産業なども訪問します。

＜特別授業 日程＞

2月18日（水）福岡市経済観光文化局表敬訪問など

19日（木）コンピュータグラフィック演習等を受講（大橋キャンパス）

20日（金）福岡県青少年科学館、九州国立博物館を視察

21日（土）メディアアート講演会を受講（大橋キャンパス）、博多伝統工芸館を視察

22日（日）2014 アジアデジタルアート大賞展 FUKUOKA に参席（福岡アジア美術館）

23日（月）コンピュータグラフィック演習を受講（大橋キャンパス）、企業視察



▲デジタイザーによる3Dデータスキャン演習風景



▲コンピュータグラフィック演習風景

※上記写真はこれまでに行われた演習等の様子。

（取材の際は、事前に下記「お問い合わせ」にご連絡ください。）

■今後の展開

本研究院の持つコンテンツ創成に関する知的財産を活用し、本学のコンテンツ創成の教育システムを広くアジアへ展開するとともに、交流事業を通して、福岡を中心としたアジアのコンテンツ拠点づくりを目指します。

■関連 Web サイト

アジアデジタルアート大賞展

<http://adaa.jp/2014/index.html>

科学技術振興機構「日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）」

<http://ssp.jst.go.jp/index.html>

【お問い合わせ】

大学院芸術工学研究院 教授 源田悦夫

電話：092-553-4503

FAX：092-553-4300

Mail：genda@design.kyushu-u.ac.jp